

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	○日常的な外出支援 気分転換を目的に可能な範囲で個別に近隣（ホーム周辺）への外出機会を確保できるよう支援し、入居者様の個々の身体的な状態や天候等に配慮し、いくつかのグループ別や個別対応等、出来る限り本人様の希望に沿った外出（散歩や買い物）が出来るよう取り組んでいるが、人員配置や感染症等の関係によりユニット毎（9名全員での）の外出や外出等の機会が減少している。	日常的な個別での外出や少人数でのグループ外出は継続しながら、ユニット毎の外出機会を企画し実施に向け取り組んでいきたい。	レクリエーション担当スタッフを中心に全職員協力のもと、年2回（春/秋）の遠足やユニット毎の外出、外出等の再開を検討し、企画実施していく。	6ヶ月
2	4	○運営推進会議を活かした取り組み 各御家族様や後見人様に、都度開催のお知らせを送付させて頂いているが、利用者様ご本人や家族様の参加が難しい状況。	毎回の参加は困難であっても、年間を通して可能な限り、利用者様や御家族様、後見人様に参加して頂ける様取り組んでいきたい。	現在、都度送付している開催のお知らせとは別に年間の予定も送付させて頂き、どこかの開催月に参加して頂ける様働きかけると共に、施設外の場所での開催ではあるが、スタッフ間で協力し、利用者様にも一緒に参加して頂ける様取り組んでいく。	12ヶ月
3	43	○排泄の自立支援 2基の便器が並んでおりカーテンで仕切られているホーム内の1か所のトイレについて、プライバシーの観点からは1名ずつの利用を原則とするルールを設ける又は重い建具に替わるアコーディオンドアの設置等の助言あり。	現状の設備環境における、最大の工夫と、設備環境自体の見直し改修を含め、更なるプライバシー配慮に取り組んでいきたい。	自立されている利用者様がお一人トイレへ行かれると「私も。」「俺も。」と続かれる現状から、2基の便器を原則1名ずつ利用するルールを設ける事は実質困難な為、自立されている利用者様であっても都度職員が付き添いトイレ間のカーテンを閉めて頂くようお声掛けさせて頂き、確認するようにすると共に、扉（建具）についても法人と相談し環境面での工夫改善に取り組んでいく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。